

めあて 学習した漢字を読んだり書いたりできるようにしよう。

二 次の——線部の漢字の正しい読み方を、ひらがなでいいねいに書きましょう。

1 手紙を開封する。

2 憧れの選手。

3 流入を阻止する。

4 争いを嫌う。

5 一喝して追い払う。

三 次の——線部のカタカナを、漢字でいいねいに書きましょう。

1 木にアナを開ける。

2 カンタンな問題。

3 ツクエを並べる。

4 センモン家の意見。

5 山のチョウジョウ。

一学期サポート問題（第三回）国語 中二

■ 正答

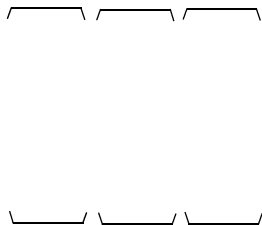
- 二 1 かいふう 2 あこが（れ） 3 そし 4 きら（う）
5 いっかつ

- 三 1 穴 2 簡単 3 机 4 専門
5 頂上

取り組んでみよう！

■ 次の——線部のカタカナを、漢字でていねいに書きなさい。

- 1 作品がカンセイする。
2 ソクタツで送る。
3 家族でリョコウに行く。



答え

旅行	3	簡単	2	完成	1
----	---	----	---	----	---

1

次の問いに答えなさい。

(1) $x = 12$ 、 $y = -3$ のとき、 $6xy^2 \div 3x$ の値を求めなさい。(2) ある数を5でわると、商が a で余りが2になります。
ある数を、 a を用いた式で表しなさい。(3) a m の重さが b g の針金があります。この針金の1 m の重さは何 g ですか。 a 、 b を用いた式で表しなさい。

2

次の連立方程式を解きなさい。

(1)
$$\begin{cases} 4x + 2y = 5 \\ x + y = 2 \end{cases}$$

(2)
$$\begin{cases} x + y = 5 \\ \frac{x}{6} + \frac{y}{3} = 1 \end{cases}$$

※次のページにも、問題があります。

3

次の問題の解き方を説明した文章について、ア、イに当てはまる言葉または式を書きなさい。

問題 「連続する3つの奇数の和は、中央の奇数の3倍になる」ことを文字式を使って説明しなさい。

連続する3つの奇数の和は、例えば、

$$1, 3, 5 \text{ のとき、 } 1 + 3 + 5 = 9$$

となり、9は中央の奇数である3の3倍です。

「連続する3つの奇数の和は、中央の奇数の3倍になる」ことは、次のように考えると、説明することができます。

- ① n を整数とする。連続する3つの奇数のうち、
ア を $2n + 1$ として、連続する3つの奇数を
 $2n + 1, 2n + 3, 2n + 5$ と表す。
- ② それらの和が中央の奇数の3倍になることを示すために、
 それらの和を $3 \times$ イ の形の式に変形する。

ア

イ

4

ある中学校において、今年度の生徒数の合計は223人で、昨年度の合計より3人増えました。スクールバスを使っている生徒は昨年度より5%増え、スクールバスを使っていない生徒は昨年度より3%減りました。昨年度のスクールバスを使っている生徒数とスクールバスを使っていない生徒数を求めます。

このとき、次の(1)、(2)の問いに答えなさい。

- (1) 昨年度のスクールバスを使っている生徒数を x 人、昨年度のスクールバスを使っていない生徒数を y 人として、数量の関係を表に整理すると、下のようになります。

空欄①、②に当てはまる数を答えなさい。

	スクールバスを使っている生徒数(人)	スクールバスを使っていない生徒数(人)	合計(人)
昨年度	x	y	①
今年度	$x \times 1.05$	$y \times$ ②	223

①

②

- (2) この問題を解くために、昨年度のスクールバスを使っている生徒数を x 人、昨年度のスクールバスを使っていない生徒数を y 人として、連立方程式をつくりなさい。

ただし、つくった連立方程式を解く必要はありません。

〔数学〕中2 組 番 氏名

$$\boxed{1} \quad (1) \quad \boxed{18}$$

$$(2) \quad \boxed{5a + 2}$$

$$(3) \quad \boxed{\frac{b}{a}g}$$

$$\boxed{2} \quad (1) \quad \boxed{x = \frac{1}{2}, y = \frac{3}{2}}$$

$$(2) \quad \boxed{x = 4, y = 1}$$

$$\boxed{3} \quad \text{ア} \quad \boxed{\text{最も小さい奇数}}$$

$$\text{イ} \quad \boxed{(2n + 3)}$$

$$\boxed{4} \quad (1) \quad \text{①} \quad \boxed{220}$$

$$\text{②} \quad \boxed{0.97 \left(\frac{97}{100} \right)}$$

$$(2) \quad \begin{cases} \text{(例1)} \\ x + y = 220 \\ 1.05x + 0.97y = 223 \end{cases}$$

$$\begin{cases} \text{(例2)} \\ x + y = 220 \\ \frac{105}{100}x + \frac{97}{100}y = 223 \end{cases}$$

$$\begin{cases} \text{(例3)} \\ x + y = 220 \\ 0.05x - 0.03y = 3 \end{cases}$$

$$\begin{cases} \text{(例4)} \\ x + y = 220 \\ \frac{5}{100}x - \frac{3}{100}y = 3 \end{cases}$$

増えた人数と減った人数を表にまとめるなど、整理して考えることが大切です。
 x 人の5%増えた人数は $x + x \times 0.05$ 、 y 人の3%減った人数は $y - y \times 0.03$ という式で計算します。

(例3)、(例4)のように、増えた人数と減った人数で方程式をつくることもできます。